

様式2

令和5年度 生徒自ら行う学習環境整美事業実績報告書

令和5年6月8日

高校教育課長 様

松本深志高等学校長

下記のとおり事業を実施しました。

記

1 実績内容

事業名	グラウンドへの土入れ事業
実施主体名	松本深志高校野球部
実施人数（生徒）	37名
〃（保護者）	0名
〃（職員等）	4名
実施日	6月8日（木）
事業内容	授業や部活動で校庭を使用することで凸凹ができ、雨が降ると授業や部活動に支障がでることがある。その対策として校庭に土を入れ平らにすることで生徒がより取り組みやすい環境へと整えた。

2 実績額 95,700 円

（購入品目）

※添付書類で明細が分かる場合は省略可。

品名	規格	数量	単価	金額
黒土混合土	黒土60% 浅間砂40%	10 m <sup>3</sup>	9,570	95,700

3 実施成果の公表方法・時期

学校・クラブホームページで公表

◎留意事項

- ・事業が複数ある場合は、1事業ごとに報告書を作成してください。
- ・請求書、実績写真（実施前、作業中、実施後の状況のわかるもの）、付表を添付してください。
- ・実施予定日は11月末までを原則とします。これにより難しい場合は理由を付して申請してください。

担当者（職・氏名） 教諭・清水雄一

## 様式2の付表

## ○事業を実施した結果、教育的効果（生徒の取組み等）の状況

いつも使っているグラウンドを自らの手で整備することで、整った環境で活動できることは当たり前ではないことに生徒は気がついた。また、今回の経験からこれからも責任持ってグラウンド整備を実践していこうとする気持ちを育成することができた。

## &lt;土入れ作業の様子&gt;



## ○事業を実施する上での問題点

安全配慮の観点からもグラウンド環境は維持していかなければならないので、定期的な土入れの必要がある。また、その環境を維持していこうとする生徒への啓発指導が重要である。

## ○今後、本事業に要望すること

今回の作業により生徒たちは環境整備への関心が高まった。今後は黒土を入れることで、さらにケガの予防につながるので来年度も事業の継続を希望いたします。